

町政を問う!!

13 議員が質問・提案を

一般質問とは、町政全般について、フリーテーマで行政側に質問するもので、議員の権利のひとつとなっています。



やまもと ひさ お
山本 久夫 議員

問 給食の果たす役割は、学校教育では教材としての位置づけされ、その内容については幾度と説明しているので承知しているものと思う。
児童生徒数の減少に伴い、全体の給食費の金額は減少しているが、公費負担額は年々増加している状況となっている。
現在の物価高騰など、社会情勢において子育てしている保護者や家庭においては、厳しい状況ではないかと推測する。

給食費

無償化できないか
総合的に政策判断する

答 大西町長

給食費を含めて子育て支援策については、議論の熟度自体はもう高まっていると感じている。
確たる返事ができない理由には、財源の全体的な問題があり、起債残高の総額自体は減少傾向にあるが、合併特例債を活用できた時代と比べれば起債残高総額に対する有

大西町長が初当選した平成22年には、児童生徒数が844人、令和5年度の児童生徒数は550人と、約35%減少している。
国の方針として、学校給食費の無償化が議論されている状況であるが、本町においても無償化に取り組む時期になっていると思うが考えを問う。

利な交付税措置が低下している。
起債残高総額は圧縮されているが、真水の借金が思ったほど圧縮されていない。
この状況下においては、直ちに確定的な答弁ができないが、財政があまりに前面に出ると住民ニーズと施策がかけ離れてしまうことも有るため、子育て支援全体の政策の中で検討する。



学校給食の一コマ
(上と右)

